

推薦調書（実装部門）

表彰区分	指定都市・中核市・施行時特例市等	推薦都道府県	福井県
地方公共団体名	福井市		
取組名称	福井市地域コミュニティ DX 推進事業		
連携自治体、企業、団体等	福井県、殿下地区自治会連合会、出前講座実施団体（入札にて契約予定）		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	②	（左記が①の場合 の分野）
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○ 地区住民の誰もがデジタル技術の活用に不都合を感じない環境を整える。また、デジタル技術等を活用し、地域コミュニティにおける担い手の確保や日常生活上の課題解決を図る。</p> <p>（具体的な取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 48 地区（小学校区）の中で、高齢化率が最も高い「殿下地区」をモデル地区に設定。以下の取組を通じ、環境づくりに取り組む。また、得られたノウハウについては他地区に横展開を図る。 <p>①デジタル機器に関する講習会の実施 殿下地域住民を対象としたスマートフォン活用についての講習会を実施</p> <p>②地区内デジタルサポーターの養成 デジタル機器の利活用について、地区内で相談できる体制の検討</p> <p>③自治会業務のデジタル化 自治会における連絡体制等に LINE などを活用し、業務の効率化を図る。</p> <p>④日常生活のデジタル化 自治会業務にとどまらない、日常生活上のデジタルサービスの活用を検討（例）コミュニティバスと各種施設のサービス連携、オンライン診療、オンライン見守り等</p> <p>⑤その他 地区住民が自発的にデジタルサービスの活用について自発的に学ぶ勉強会などの開催</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>新型コロナウイルスのワクチン接種が高齢者を対象として優先的に始まった際、オンライン予約の方法がわからない高齢者が福井市役所の窓口に殺到し、約 5 時間待ちの行列ができた。</p> <p>上記の出来事を直接の契機として、行政としてデジタルデバインド対策が急務であるという認識を持った。</p>		

	<p>【解決する課題の具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民がスマートフォンなどのデジタル機器の使用に不安を感じないような環境づくり ・デジタル技術等を活用した、自治会活動やその他日常生活上の課題解決（医療、交通、買い物、コミュニケーション等）
デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な取り組みは本年度からであるため、数値的な成果はなし。（参考・R3年度の活動実績） ・ハッカソンイベントの開催（11/27, 11/28） ・地域プロジェクトマネージャーの任用（12/15） ・地区住民に対するアンケート調査の実施（1月） ・殿下地区でのスマートフォン講座の試験的实施（3/20）
本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のまちづくり活動に取り組む小学校区・自治会連合会区単位の地域コミュニティをフィールドとしており、住民との連携が比較的取りやすい。 ・総務省の地域プロジェクトマネージャー制度を活用し、全体統括としてプロジェクトマネージャーを1名配置しており、地区、行政、企業などとの円滑な連携に寄与している。 ・具体的なデジタル技術の活用については、既存の技術を単に導入するのではなく、福井県と連携して実施したハッカソンイベントでのアイデアなども参考に、地区が求める技術、解決したい課題を深堀しながら活用を検討している。
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を通じ、地区住民のデジタルリテラシーを向上したうえで、具体的なデジタルサービスの活用を検討し、地域課題の解決解決を図る。 ・サポーター制度や出前講座など、デジタルデバインド対策としての環境づくりについては、市内の他地区に横展開し、市全体での環境づくりにつなげていきたい。

「福井市地域コミュニティ DX 推進事業」 概要図

